



左から 沖縄県歯科医師会 米須専務理事、真境名副会長、比嘉会長
琉球大学医学部附属病院 藤田病院長、新崎歯科口腔外科長

琉球大学医学部附属病院と一般社団法人沖縄県歯科医師会は、平成27年10月に合意した「がん患者歯科医療連携」に引き続き、医科と歯科の役割分担の明確化、双方の医師の連携強化を目的として医科歯科医療連携体制を構築することについて合意し、平成29年5月31日に「おきなわ医科歯科医療連携合意調印式」を執り行った。

今後は、患者さんの症状に応じた適切な治療が迅速に受けられるよう地域医療連携ネットワークが構築され、患者本位の一貫性のある医療の供給を図っていく。また、医科・歯科の両科に関連する医療情報を交換し、今後、起こりうる可能性のある医療上の課題に適切に対処するため両機関の交流を活性化させていく。

調印後、藤田医学部附属病院長から挨拶があり、「前回のがん患者の歯科医療連携からさらに拡大し、あらゆる疾患においても連携し地域医療の質向上を目指していく。また、地域の歯科医師の皆様が歯科医療を行う上で、例えば感染症などのリスクに直面する可能性もあり、琉球大学医学部附属病院としては医療者のリスク低減を含めた連携としたい。」と述べた。次いで比嘉良喬沖縄県歯科医師会長から挨拶があり、「今回の琉球大学医学部附属病院との連携は地域医療の向上の上で大きな意義がある。今回を皮切りに、沖縄各地区の基幹病院等とも連携を密にし、歯科医師の地域医療への貢献度を高めたい」と述べた。